



希望が丘東地区

人口増加率の高い町がある地域です。



人口 17,358人



6歳未満児数(率) 866人(5.0%)



世帯数 7,320世帯



高齢者数(率) 3,376人(19.4%)



出生数 143人

今宿地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

- 第1回目 平成17年7月18日
- 第2回目 平成17年8月23日
- 第3回目 平成17年9月29日



地域の主な福祉保健活動

- ◆ 親子サロン
- ◆ 高齢者文化スポーツ交流
- ◆ 希望が丘東ボランティア連絡会(東ボラ連)
- ◆ ふれあい広場・ふれあい演芸会・まつり事業

支えあい連絡会開催日

- 第1回目 平成17年10月26日
- ### 分科会
- 第1回目 平成17年11月22日
 - 第2回目 平成17年12月22日

様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

当面取り組む地域の課題

- 情報マップづくり
- 連携と協力体制づくり

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

地域のことを皆が知っているまち

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

障害児者やボランティア等の各種課題を解決するために、まずはマップづくりを通して、地域のことを皆が知る必要があります。

また、支えあい連絡会分科会で各団体や色々な立場の代表が集まり話し合うことで、今後、各種多様な問題の解決に結びつく連携と協力体制づくりにもつながります。

具体的な取り組み

障害児者やボランティア・子育て情報・高齢者の情報マップづくりを通して地域のことを皆が知る。



懇談会参加者

連合自治会関係者
民生委員・児童委員
保健活動推進員
老人会関係者
小・中学校教員

地区社会福祉協議会関係者
主任児童委員
ボランティアグループ
障害者団体関係者

目標 テーマ

地域のことを皆が知っているまち

大切にしたい点

地域を皆が知る

障害児者やボランティア等の各種課題を解決するために、まずはマップづくりを通して、地域のことを皆が知ることが必要です。また、支えあい連絡会分科会で各団体や色々な立場の代表が集まり話し合うことで、今後、各種多様な問題の解決に結びつく連携と協力体制づくりにもつながります。

課題

情報マップ

- ◇子育て情報のマップ ◇地域施設の利用方法のマップ
- ◇障害児者のためのマップ ◇施設の場所
- ◇子育てサロン ◇医療機関

連携と協力体制づくり ◇各団体や色々な立場の代表が集まり話し合う

目標 テーマ

障害児者が暮らしやすいまち

大切にしたい点

障害児者が地域に溶け込んだまち

障害児者が普通に地域参加でき、町内会で顔が見えている関係を目指します。

課題

情報と周知

- ◇障害児者の存在を地域で把握しにくい
- ◇地域の中で障害児者に対応している施設・グループホームなどの情報がない
- ◇障害児者の方への対応の仕方を知る必要がある

施設利用とニーズ

- ◇ちょっとした買い物に付き添ってくれる人がいない
- ◇各家庭のハード（風呂の狭さ）が悪くて不自由
- ◇理髪を行ってくれる施設はあるが一様ではない
- ◇仕事でも単純作業はあるが、リハビリ的なことをやらせてくれる所を増やしてほしい

障害児者の立場と発言権 ◇障害児者が何人かで集まって話し合う機会を設ける

課題、目標テーマ

目標
テーマ

ボランティアの担い手が協力し合えるまち

大切にしたい点

ボランティアグループの横のつながりを図り、誰もが気軽にボランティアに参加でき、担い手と利用者のコーディネートがスムーズな体制づくり
単純化された役割マニュアルを作成し、ちょっとしたニーズに合った、ちょっとしたボランティアに気軽に参加できるシステム作りによる、情報の共有がなされたまちを目指します。

課題

担い手を増やす

- ◇ボランティアの高齢化
- ◇ボランティアの年齢・体力に問題
- ◇退職した男性の方々に参加して欲しい
- ◇活動の担い手となる人が昼間いない
- ◇体力・能力のある世代がボランティアに参加できにくくその数が少ない

ボランティアの意識・心

- ◇ボランティアの心を持っている人が少ない
- ◇ボランティアを自己負担の多いものと考えてしまう
- ◇理想を高く持ってしまう(～でなければならない)
- ◇ボランティアを特別な活動だと考えてしまう
- ◇ボランティアが安い労働力と考えられては困る
- ◇小さい頃からちょっとしたボランティア意識醸成

情報の共有

- ◇ボランティアと利用者のコーディネートが必要
- ◇ボランティアの仕事の内容がわからない
- ◇単純化された役割マニュアルがない
- ◇どのように関わればいいのかわからない
- ◇情報が入りにくい
- ◇要望に対する情報収集する場がない
- ◇ボランティアの募集の仕方も課題
- ◇各クラブの世話をする人がいない

ちょっとした支援

- ◇生活支援のボランティア、特に雑草の除草などをして欲しい方が多い
- ◇庭の草取り、ちょっとした木の枝切りを頼めるボランティア育成が必要